

2017年10月5日
コープデリ生活協同組合連合会

コープデリグループで最大規模となる年間 154 万 kWh の総発電量 10月10日より、野田船形物流センターにて太陽光発電を開始 グループ全施設での再生可能エネルギー（総発電量）は年間で 745 万 kWh に

コープデリ連合会（本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋敏夫、会員生協：関東信越の7生協）は、野田船形物流センター（千葉県野田市）の施設屋上に太陽光発電システムを設置し、10月10日（火）より新たに太陽光発電を開始します。野田船形物流センターでの発電出力は、コープデリグループの既存発電施設の中では最大となる 1,470.8kW で、年間 154 万 6,105kWh の総発電量を見込んでいます。

野田船形物流センターで発電した電気は、今後、株式会社地球クラブ※を通じて、2017年9月から生協組合員への電力供給を開始したコープみらいの電気小売事業『コープデリでんき』や、コープデリグループの事業所で使用する電気に活用する予定です。

コープデリグループでは、原子力発電に頼らないエネルギー政策の実現と持続可能な社会を目指す立場から、再生可能エネルギーの普及・拡大への取り組みとして、物流センターや宅配センターを中心とした施設の屋上に太陽光発電システムの設置を進めております。太陽光発電システムを設置しているグループ全施設（一部、設備容量 25kW 未満のバイオマス・風力発電を含む）での総発電出力は 6,945.43kW、年間総発電量は、累計で 745 万 2,044kWh になります（野田船形物流センターを含む、2017年10月5日現在の試算）。

コープデリ連合会では今後とも、再生可能エネルギーの普及・拡大を図ってまいります。

※2015年4月より事業活動を開始した日本生協連の子会社。全国の生協施設の太陽光発電パネルや、提携発電所から発電される再生可能エネルギー（太陽光、木質バイオマス、風力など）を中心に調達し、全国の生協に電気を供給する。

■野田船形物流センター 太陽光発電システム 概要

事業所名：コープデリ連合会 野田船形物流センター
所在地：千葉県野田市船形 1642-1
敷地面積：30,388 m²
発電出力：1,470.8kW
年間発電量：154 万 6,105kWh
発電開始：10月10日（火）



野田船形物流センターの屋上に設置した太陽光発電システム

《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

「生活協同組合連合会コープネット事業連合」は、「コープデリ生活協同組合連合会」に名称を変更しました

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13
【理 事 長】 土屋 敏夫（つちや としお）
【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、
コープながの、コープにいがた、コープクルコ
【総事業高】 5,346 億円（会員生協事業高計） ※2016 年度
【組合員数】 472 万人（会員生協組合員計） ※2017 年 9 月 20 日現在
【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>